

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 9 月 30 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4 2 7 0 2 0 1 6 3 7		
法人名	特定非営利活動法人 つくも福祉グループ		
事業所名	グループホーム大和		
所在地	長崎県佐世保市大和町 1 1 1 4 番地 2		
自己評価作成日	平成 23 年 9 月 30 日	評価結果 市町受理日	平成 23 年 11 月 24 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島 2 丁目 7217 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 23 年 10 月 31 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気大切にしており、利用者・職員の信頼関係も深く、昔ながらの大家族といった感じです。“その人らしくいきいきと”をモットーに、いつも笑顔の絶えない優しさに溢れた明るいホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

開設当初は地域に溶け込むことで苦労されていたが、月日と共に周辺地域の方にも理解と協力を得られるまでに成長され、今では地域の方と協働した取り組みは公民館行事やホーム行事に反映され成果につながっている。又、佐世保市グループホーム連絡協議会の中部 2 ブロックの同業者とも当該会議を通して交流を深め、相互間の見学研修から学ぶことも多く、業務の向上を目指した取り組みとして日常業務に活かされている。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<b>理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の方々の協力・協働なしには質の高いサービスの提供は出来ないと職員全員が思っており、常に意識しながら実践につなげている。	地域と協働することにより「地域に愛され、親しまれ、頼りにされる」事業所となることを目指し、職員一人ひとりが「質の高い介護」を意識して実践につながれている。	
2	2	<b>事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域、事業所お互いの催しに参加しあい、助け合える関係を築いている。又、公民館たよりにて事業所を紹介させて頂いたり交流が活発になってきている。	町内会運営に積極的に参加しており、並行して事業所としても自らの設備や知識の提供により、地域と共存した関係構築に努められている。	
3		<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	公民館や老人会の催しに利用者と共に参加することで、実際に認知症の方と触れ合ってもらい、接し方等を見て頂いている。その際に疑問や質問を受けることもあり、理解を深めるチャンスになっている。	/	/
4	3	<b>運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では得ることが多く、参加者の意見がサービスの向上に繋がっており、非常に大切な会議となっている。	ホームの日常生活報告（どういったことを行っているか）に対する参加メンバーの気づきや疑問、提案を通じた話し合いで認知症に対する理解や接し方の啓蒙、更には地域の協力を得る機会にと有効活用されている。	
5	4	<b>市町との連携</b> 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議への参加の回数も増えてきており、意見を頂いたりする機会が増えてきている。	市と連携した介護予防活動にも積極的に参加されている。現在、グループホーム連絡協議会のブロック長も担っておられ、市との双方向の連絡・協力の頻度も増えている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束については、ホーム内研修にて取り上げ認識を深めると共に身体拘束廃止推進委員会により徹底を図っている。</p>	<p>基本的に身体拘束をしない方針を掲げられているが、立て続けのベッドからの転落事故を機会に家族会と話し合い、「起き上がり」と転落防止のため「ベッド柵を全員に購入・設置されている。様子を見て必要ない方はとりはずす予定である。</p>	<p>立ち上がり動作を踏まえたベッドの高さや利用者の寝具環境なども踏まえた、転落事故の原因・要因を検討され、「身体拘束ゼロへ向けた取り組み」を実践されることが期待される。</p>
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ホーム内外での研修や講習により虐待防止は徹底して行っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>自立支援事業に関しては、当事業所でも口腔機能・認知機能維持の委託を市より受けている為、知識を深める様にしている。又、介護予防を踏まえ「いきいき元気教室」へ参加し、体操等の指導も行っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明をし、納得頂いた上で契約・解除を行っている。改定についても必ず家族会にて話し合いをし、合意を得た上で変更を行なっている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会にて意見や要望を伺うことで、皆で話し合う機会となっており、運営に反映させて頂いている。又、来施の際にもご意見や相談等、気軽に話して頂ける環境が出来てきており、質の向上に繋がっている。</p>	<p>家族会を年に2回開催されており、ターミナル期や家賃など相互間の問題について、事業所と双方向の話し合いをされている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の勉強会にて職員の意見や提案を聞いており、その場で検討するようにしている。又、日頃のミーティング等でも意見を出し合い反映することでサービスの向上に繋がっている。</p>	<p>職員一人ひとりの意見は伝えやすい環境である。幅広い年代層の職員構成で学ぶこともあり、それを調整しながら可能な限り業務に反映できるように努められている。</p>	

12	<p><b>就業環境の整備</b>          代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員数にゆとりを持たせることで労働時間や職務内容がハードにならない様に設定している。又、給与水準についても出来る限り上げるようにしており、スキルアップの際の講習や研修も出来る限りの優遇を行なっている。</p>		
13	<p><b>職員を育てる取組み</b>          代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の能力に応じた研修や講習を促し（法人負担）スキルアップを図っている。それ以外の本人が希望した講習や研修についてもローテーション等優遇するように努めている。</p>		
14	<p><b>同業者との交流を通じた向上</b>          代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会にてブロック長を務めており交流のきっかけを与える立場となっている。又、他グループホームや小規模多機能施設の運営推進会議のメンバーにもなっており、相互にサービスの向上が出来始めている。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>初期に築く本人との信頼関係</b>          サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>話をしながら僅かな表情や言動にも留意し、出来る限り本人の意向を汲取る様にしており、心情や環境といった因子も見落とさない様に努めている。</p>		
16	<p><b>初期に築く家族等との信頼関係</b>          サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族にとって今何が負担になっているのか、心労や今後の不安、本人への思い等じっくりと話を聞き、本人・家族双方にとって「最善」を提案出来る様、努力している。</p>		
17	<p><b>初期対応の見極めと支援</b>          サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族の意向や情報をまとめた上で、他サービスも含めた複数の選択肢を提案するようにしており、今後の見通しも考慮しながら適切な選択が出来る様、話し合いを行っている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>“グループホームにおいて利用者・職員は(第2の)家族を理想とし、共に一喜一憂し、学び合い支え合える関係づくりを目指している。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族ぐるみの施設である事をモットーとし、本人・家族・職員が互いにコミュニケーションを取りながら、よりよい関係を築いていける様努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>家族や友人の来施が気軽に出来る環境づくりに努め、ホーム便りの配布、行事の案内状送付、俳句会への参加等、会う機会や出掛ける機会を出来るだけ増やす様にしている。又、電話や手紙で連絡を取る為に必要な支援も行っている。</p>	<p>利用者のこれまでの職業や趣味、生活環境などこれまで慣れ親しんできた人や物を日常生活支援の中に取り入れており、畑作業や俳句会への参加の他に、山野草などをホームへ持ってきて昔を懐かしんでもらう取り組みもされている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>毎日のレクリエーションや作業療法等で共同作業を行ったり年に数回の外出等でコミュニケーションを図ったりしながら友好関係を深めている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ご縁のあった方との繋がりは大切にしており、必要であれば来訪・来施・電話等で相談に乗るようにしている。又、住所移動の難しい方の住所を引き受けており、郵便物等の連絡も行っている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>希望や思いは日々の言葉・行動・表情・僅かな仕草等から汲取る様に心掛けており、個々にあったスケジュールを過ぎ頂く様に努めている。</p>	<p>利用開始時の基本情報に日々の生活から得た情報や気づきを追加記入し、利用者の思いや意向、ニーズの把握に繋がれており、「優しい気持ち」をキーワードに統一した介護に反映されている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に生活歴をとり、経過と共に知り得た本人・家族からの情報をその都度追記し、職員で共有している。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者一人ひとりのADLやQOL等を元に出来ることの把握に努め、その日その日の表情や言動等に留意しつつ、尊厳ある暮らしの提供に心掛け、1日1日を大切にしている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>利用者や家族の意向を探り、時には話し合いをしながらプランを作成している。又、計画作成担当者とは別に個々の担当を決め両担当者と数名職員により担当者会議を行い、他角度から見たよりよい計画が出来る様に努めている。</p>	<p>入居者担当職員に介護計画の案を作ってもらい、ケースカンファレンスで全職員の意見を聞き、すり合わせをして利用者の現状に即した介護計画を作成されている。</p>	<p>更に、個別記録にケアの実践・結果、気づきや工夫点を記載し、職員間の日々の情報の共有を通して随時の課題解決や間違った解釈の修正につながる事が望まれる。</p>
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護計画の実施記録表を記入する様にしており評価を行うことで現状の把握に役立っている。又、送りや勉強会・担当者会議の際にお互いの気づきやアイデアを話し合っており情報の共有に繋がっている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>365日24時間介護が基本であり、通院介助や買い物付き添い及び代行等、その時々ニーズに添えるよう心掛けている。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の公民館関係者や民生委員といった方々が色々な事に協力してくださっており、利用者の暮らしを支える大きな資源となっている。又、俳句の会へ参加したりと趣味を楽しむことも出来る様になってきている。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の承諾を受け、かかりつけ医が月に1度往診を行っており、その際医師に正確な情報を伝える必要の指示を受けている。又、健診や予防接種等必要な医療を受け、緊急時・急変時にも往診や受診が受けられる様、協力関係を築きながら支援しており、家族にはその経過や結果を必要に応じ、速やかに報告し記録している。</p>	<p>希望される場合は、契約時に説明し、納得いただいた上でかかりつけ医を事業所のホームドクターに変えられる場合がある。</p>	

31		<p><b>看護職員との協働</b></p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>常勤3名、非常勤3名の看護師が介護職を兼務しており、日頃から職員全体で情報交換を行い、適切な処置が行える様、協力している。</p>			
32		<p><b>入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院した際は、病院関係者と情報交換を行い、利用者に不利益が生じることのない様早期退院或いは今後の対応について相談出来る体制を築いている。</p>			
33	12	<p><b>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族会等でも議題に上ることがあり、ターミナルについては方針の説明を行っている。又、必要に応じ個別でも本人・家族・医師・職員で方針や方向性を話し合い、状況の変化に応じて細部の合意を得る様にしており、最期の時まで尊厳があり安定した穏やかな毎日を送ることが出来る様、身体的・精神的サポートの出来る体制作りにも努めている。</p>	<p>「ターミナル期はどのように対応してもらえるのか」尋ねられることがあり、家族会でも話題にあげられている。</p> <p>重度化やターミナル期の対応説明は口頭でされており、状態に応じてその都度の話し合いもされ利用者・家族にとっての善処策をとられている。</p>	<p>重度化やターミナル期における事業所のできることを明文化され、利用者や家族等の安心の目安になる取り組みに期待したい。</p>	
34		<p><b>急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応マニュアルをいつでも見れる様に準備している。又、必要に応じ普通救命の講習や研修等にも参加し、実践力を養っている。</p>			
35	13	<p><b>災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署員立会いの下、定期的に総合消防訓練を行っている。避難訓練を実施している。又、地域住民の方へお願いし、災害時の緊急連絡網に名前を連ねさせて頂き、避難時の協力を要請している。</p>	<p>想定される基本的な災害対策、避難経路の確認はされている。</p>	<p>更に、福祉事業所及び同業者間の連絡・協力体制づくりが期待される。</p>	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	<p><b>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b></p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>その人その人にあつた対応を心掛けており、生き方や好み等を把握し尊重する様に努めている。又、環境においても自分の空間や自由な時間を持つ様、配慮している。</p>	<p>利用者に応じた言葉かけや対応に努められている。</p> <p>個人情報に関する書類は適切な場所に保管・管理されている。</p>		

37	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>一人一人にあったアプローチで思いを表出出来る様働きかけている。又、なるべく自己決定が出来る様、声掛け等のやり方を工夫している。</p>		
38	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ゆとりのある生活を心掛けており、寄り添いながら個々にあったペースで自然な1日の流れを共に送れる様、支援している。</p>		
39	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>その日に着る服選びを一緒にいたり、整髪・整容に関しても個々に合った支援を行っている。又、職員の中に理容師がおり、散髪や毛染め等、希望に沿ったおしゃれを楽しめる様にしている。</p>		
40	15 <p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事を楽しめる様、季節感を大事にし、時には教わり教えながら個々に合った作業を共にしている。又、地域の方の協力を得ながら畑で野菜を栽培しており、収穫した物が食卓に並ぶこともひとつの楽しみとなっている。</p>	<p>【食事】を野菜栽培から後片付けまでの広範囲で捉えられており、利用者の能力や経験に応じた関わり支援は、利用者の自信の回復や喜び、楽しみに反映されている。</p>	
41	<p>栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養ケア計画を作成し、栄養バランスや摂取量の目安としている。又、3度の食事、2度のおやつ時に水分摂取を促し必要量が確保出来る様、心掛け目を配っている。</p>		
42	<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、声掛けや歯ブラシを手渡ししたり、入れ歯を預かりうがいさせたりと、口腔ケアを行うことを習慣にしている。</p>		
43	16 <p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>日中は全員がトイレで排泄することでオムツ外しを実践している。又、日頃の排泄パターンを把握することで時間おきに声掛けや誘導を行い失敗を軽減する様、心掛けている。</p>	<p>利用者によってはポータブルトイレの夜間使用で可能な限りオムツに頼らない支援に努められている。</p>	
44	<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分や食物繊維がバランスよく摂れる食事の提供に努め、個々にあった運動を促し便秘予防を行っている。又、医師との連携を図り必要であれば下剤を使用している。</p>		



45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>風呂に入る順番や時間等、出来るだけ本人の意向に添える様、配慮している。又、拒否のある方には無理強いはせず、時間をかけて声掛けしたりアプローチを変えながら対応している。</p>	<p>浴室がリニューアルされ環境が向上されている。拒否者で入浴に至らない場合は足浴や清拭、着替えるだけの対応で清潔保持につなぐ、次のタイミングに期待される。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活リズムを大切に、入眠のタイミングはお任せしている。エアコン操作が難しい様なので室温の管理には気を配り、自室で過ごされる際は巡回を行い快適に過ごして頂ける様に配慮している。又、不眠の方には医師の指示の下、眠剤を服用して頂いている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬は個人のレベルに合わせて見守り・介助を行う様にしており、一人一人が何の薬を飲まれているか把握する様に努めている。又、特に注意が必要な薬に関しては常にチェックを行っている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>それぞれの得意分野や趣味・趣向を大切に、家事や菜園作り、絵、習字、俳句、音楽等々、楽しい生活が送れる様、支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>定期的なドライブや買い物、散歩、花見、俳句の会、公民館行事、テラスで日向ぼっこ等といった具合に、個人のレベルに合わせて外出機会を設ける様にし支援を行っている。又、家族に時には連れ出して頂ける様打診し、外出や外泊も促している。</p>	<p>公民館活動や趣味の俳句教室など事業所外でのクラブ活動支援をされている。</p>	

50	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>毎月、1～2回のペースで「お店屋さん」というレクリエーションを行っており、誰もが買い物物（菓子・化粧品・衣類・雑貨等）を出来る機会を設けている。支払は本人の能力に応じて支援を行う様にしている。</p>		
51	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話は、誰でもいつでもかけられるようにしており、必要に応じて支援も行っている（番号ブック・代行）。又、手紙をポストへ投函したり切手を購入したり、代筆等の支援も行っている。</p>		
52	<p>19 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内の至る所に季節の草花や職員手作りのタペストリーを飾り、春夏秋冬を感じて頂ける様、配慮している。又、ホームの外の花壇にも季節の花々を植え、特に気候がよい時にはテラスでの寛ぎの時間の彩りとなっている。</p>	<p>洗面所・トイレ・浴室が広いワンルーム内に配置されているのを除けば、全体的に家庭的な間取りの共用空間である。廊下や寛ぎの間にはソファや椅子、書籍棚等が設置されており、集いや独り居など人の気配を感じながら過ごすことができる。</p>	
53	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の向いた場所で寛いで頂ける様、所々に椅子やソファを設置したり、外のテラスをいつでも利用出来る様にする等、居心地のいい環境づくりを心掛けている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	新調した物より馴染みの物をと促す様にしており、出来るだけ本人の見慣れたものを設置し違和感なく居心地のいい環境となる様、努めている。又、全居室が昔ながらの畳となっており、安心感に繋がっている。	利用者の趣味や好み等 窺い知ることができる 物品が持ち込まれており、生活感が感じられる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺や掴まれるものを設置し、動きやすい環境を整え、一人一人のレベルに応じた声掛けや介助を行なう事によって混乱や失敗を防止する様、努めている。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない